

小平市の福祉的な交通体系のあり方を考える情報交換会（第 10 回）

日時：令和 5 年 1 2 月 8 日（金）午前 10 時～10 時 45 分

会場：健康福祉事務センター 第 3・4 会議室

市からの情報提供

<公共交通課>

1 （仮称）小平市の地域公共交通の基本方針（素案）について

- ・持続可能なまちづくりにおける地域公共交通の目指すべき姿の実現に向けた考え方を示すとともに、地域の特性や実情及び市民の移動ニーズに対応するための課題の整理と取組の方向性を定めた方針とする。
- ・障がい者施策に関連する項目として、「方針 2 将来を見据えた持続可能な地域公共交通」では、目標 2 適正な運賃体系の地域公共交通」を掲げ、運賃体系の見直しを検討する。
- ・基本方針（素案）に対するパブリックコメントを 12 月 19 日まで実施している。

2 小平南西部地域におけるデマンド型交通の実証実験運行について

- ・南西部地域では、地域の方とともにコミュニティタクシー以外の新たな交通手段として、「デマンド型交通」の実証実験運行に向けて準備を進めている。

3 小平市公共交通マップについて

- ・小平市公共交通マップを配布した。

参加者（団体）の近況等

<福祉有償運送事業者>

- ・前回の会議（令和 3 年 11 月）の時はコロナ禍で、運行の利用も減っていたが、現在はほぼコロナ禍前に戻っている（具体的には月に 40～50 回位）。
- ・利用者は視覚障がい者、身体障がい者、知的障がい者で、車いす利用の知的障がい者もいる。
- ・他の移動手段がなかなか無く、会員になって、事前に予約をして病院や施設に送迎という利用が多い。
- ・ドライバーの確保が難しいことが課題である。常にアンテナを張り、関係者の伝手で探している状態。
- ・車両は、車いすを乗せることができる軽自動車 2 台で運行している。

<介護タクシー事業者>

- ・昨年くらいから病院へ行く方、お出かけする方が増えている。
- ・今年に入り、新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行し、コロナ禍前と同じ状況になってきている。

- ・運転手不足でタクシーが予定通りに運行できず、お客さんがなかなか乗車できないという話を聞く。
- ・介護タクシーは「福祉輸送限定」がついていて、対象者が限定され、予約制で乗ることが基本となっている。駅や病院で待ったり、手を挙げている方にその場で乗ってもらうことはできない。
- ・市で変えられることではないが、介護タクシーの利用方法を変えてもらえたら、移動で困っている方がより利用しやすくなると思っている。

<福祉バス>

- ・福祉バスの利用については、コロナ禍に比べると少しずつ戻ってきていると感じている。
- ・福祉バスは、運行範囲が小平市を中心に半径 30 キロということで、遠方への長時間利用が入ると、1 台がその日 1 日お 1 人の方の運行のみとなり、他の方をお断りせざるを得ないことがある。
- ・運行範囲を狭めてもらえると、より多くの方に利用していただけるのではないかと感じている。
- ・乗務員の確保について苦労している。福祉バスの場合は時間が決まっているので、遠方まで行って戻ってくると、どうしても勤務時間を超過してしまう。その場合、翌日その乗務員が運行に入れなくなるため、その辺りも含めて運行範囲の問題が解決できればと考えている。

<タクシー事業者>

- ・タクシー業界では運賃改定があり、運賃の値上げが実施されている。初乗り運賃 500 円は同じだが、距離が若干短くなった。加算運賃に関しても同じ 100 円ではあるが、距離が短くなった。迎車料金や時間指定の予約料金も値上げした。
- ・コロナ禍においてだいぶ収入が落ち込み、それに伴い乗務員が離れてしまうという状況があった。2 年前には全体の稼働率が 50%前後になっていたが、今年に入ってから需要も上がってきており、乗務員の応募も増えた。稼働率も戻ってきており、現状 7 割の車両を動かすことが出来ている。
- ・UD 車両は一台のみで日産のセレナを使用している。車いすの乗降に関してはスムーズにお乗せすることができるとても良い車両だが、どうしても故障が多く、さらに修理期間も長く、なかなか稼働が出来ていないのも現状である
- ・乗務員不足が大きな課題となっており、需要と供給のバランスが崩れている。以前は 5~10 分でお迎えにあがれていたのが、場合によっては 30 分近くかかり迷惑をかけてしまっている。駅に関しても、現在は昼間からお客様がタクシー待ちで並んでいる状況である。

- ・UD車両については、車いす対応の車両でワンボックスが4台あり、その他にジャパンタクシーという車両が6台ある。ワンボックスについては、後ろから簡単に乗せることができるタイプのもので、お客様にとっても負担が少ない。ジャパンタクシーに関しては作業工程が多く難しいところがあり、ご迷惑をおかけしてしまう場合もある。
- ・運賃改定で特殊車両（UD車両）に関しては指定料金として500円別途いただいている。

<利用者代表>

- ・駅前にUDタクシーが並んでいるのを見かけるが、健常者が乗っていることがある。一方で車いすの方が並んでいる時はUD車両が来なくて困っていることがある。
- ・先日、車いすを利用している友人が市内のイベントに行くためにタクシーを予約しようとしたが、予約がとれず仕方なく公共交通機関で行った。車いす利用の方だと付添いがいないと一人では行動できず困っている人がいる。
- ・現在、小川駅の再開発が進み始めているので、コミュニティタクシーの乗降場所が早めにわかるようにしていただけると高齢者及び障がい者が安心して乗り降りできるのでありがたい。
- ・コミュニティタクシーのルートをもう少し広げることにはできないかという意見が地域の人から出ている。
- ・コミュニティタクシーについて、時間延長をしてほしいという声も聞いている。もう少し朝早く、夕方も18時くらいまでは運行して欲しいという意見が出ている。